

証券コード2874

# 横浜冷凍株式会社

個人投資家説明会

2025年9月18日

## 人とおいしさのあいだに

おいしさは、ココロを満たす  
おいしさは、カラダをつくる  
すべての人を幸せにするみなもと

食により添い、食を豊かにする  
かかせない存在として、  
私たちはこれからもずっと  
そのおいしさを守り続けていきます

冷蔵倉庫と食品販売  
ふたつの事業で日本へ、世界へ  
人のために食をつなぐ使命を果たします

生産地から食卓まで、  
食にかかわる人たちの  
ほほえみもつないでいく

人とおいしさのあいだに  
ヨコレイ



# 本日の目次

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

# 1

## ヨコレイの概要

YOKOREI OVERVIEW

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

動画をご覧ください

<https://www.yokorei.co.jp/about/movie/>



## 冷蔵倉庫事業

水産品・農畜産品などの冷蔵・冷凍保管、凍結  
それに付帯する事業（利用運送・通関等）

### 特長

- 業界トップクラスの収容能力と自然冷媒導入率
- 積極的な新規拠点の設立により収容能力拡大
- 当社独自の「ヨコレイ品質」を構築



## 食品販売事業

水産品及び農畜産品の  
販売並びに輸出入



### 特長

- 多様なニーズに対応した**食材調達力**
- **産地・消費地に営業所を設置**し、安定供給
- 水産事業・畜産事業・農産事業の3事業体制

### 1 水産事業

#### 輸入

北欧のサーモントラウト、東南アジア・南米のエビ等、品質の高い食品を世界各地から調達し、国内の加工メーカーや問屋に販売

#### 国内仕入

日本各地で水揚げされたサバ、ホタテ、イワシ等の水産品を日本全国、さらに海外にも販売

#### 三国間貿易

当社が仲介者となり、海外で仕入れた水産品を第三国へ輸出

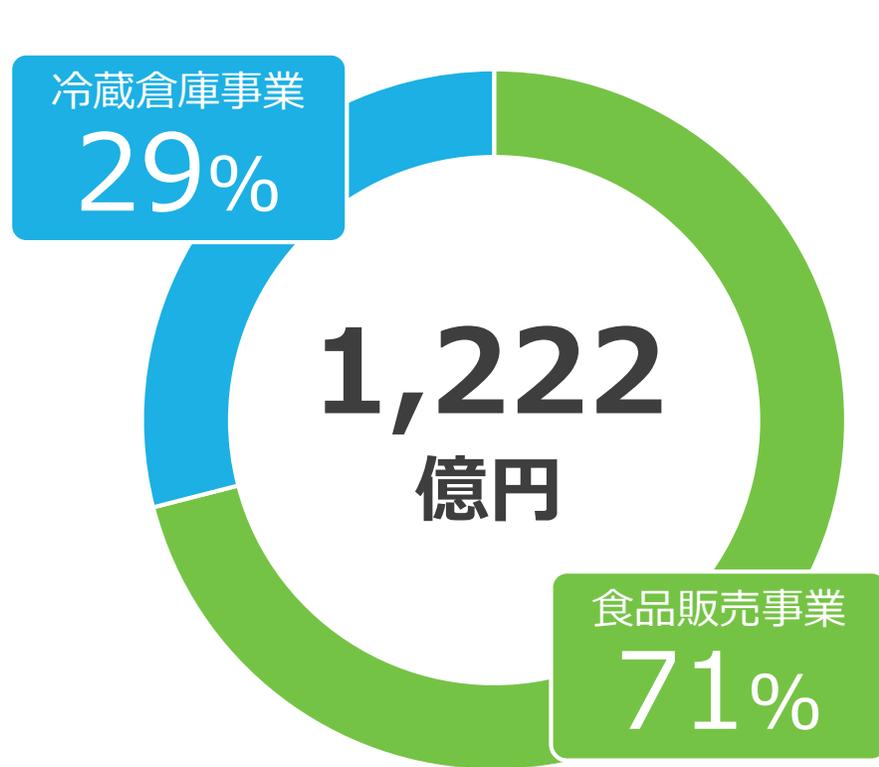
### 2 畜産事業

ポーク・チキン・ビーフ等の主要畜産品を北米・ブラジル・豪州、タイ等から調達し、加工原料としてメーカーへ販売する他、問屋や加工業者を通じて量販店や飲食店に販売

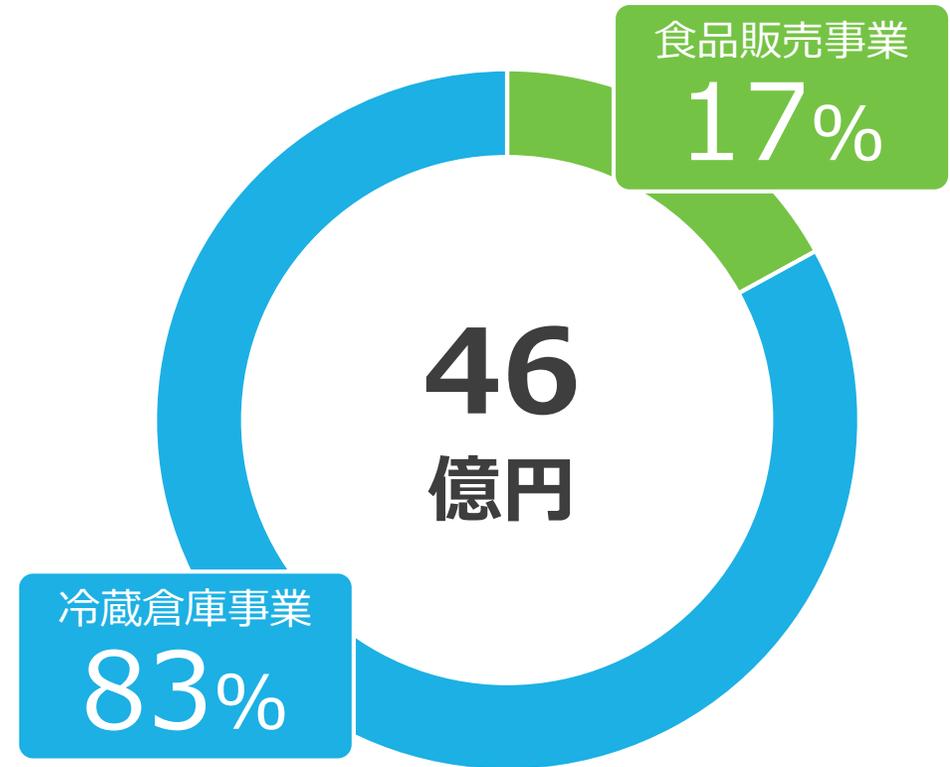
### 3 農産事業

北海道・十勝に拠点を構え、道内の農産品をメーカーをはじめ全国各地の事業者へ販売

2024年9月期 売上高



2024年9月期 営業利益



# 2

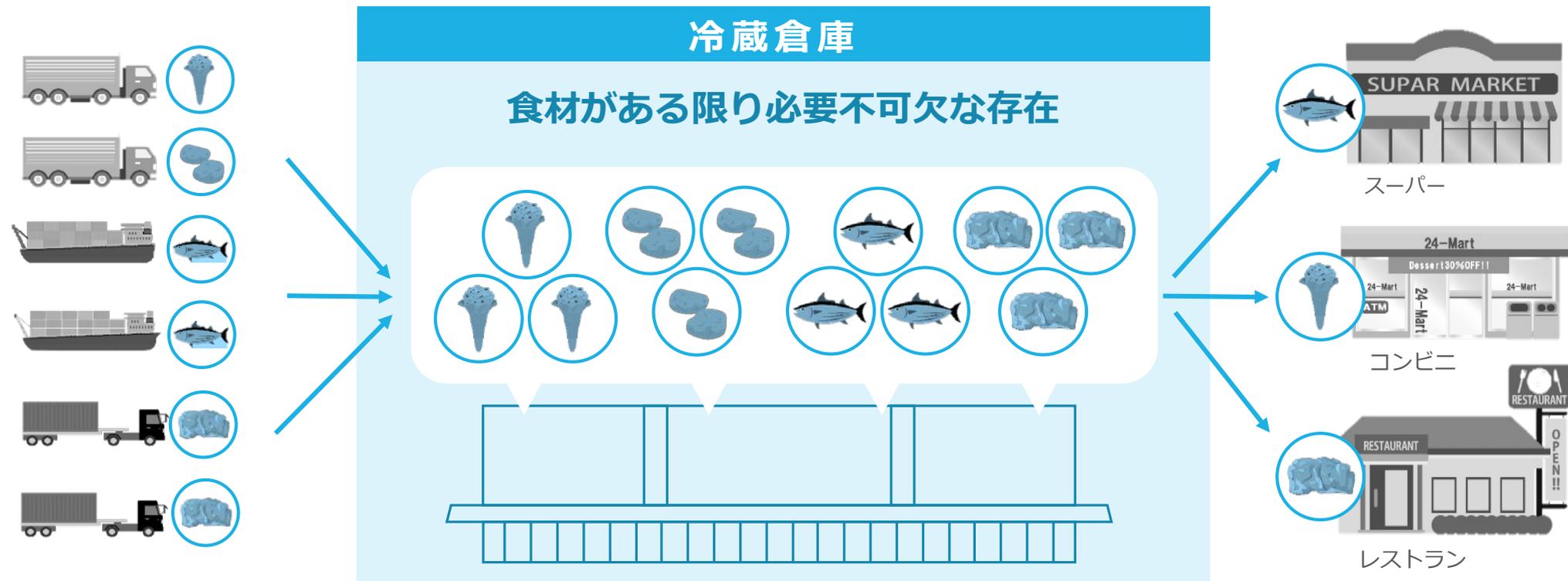
## 冷蔵倉庫事業

REFRIGERATED WAREHOUSING BUSINESS

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

## 冷蔵倉庫は、電気、水道、ガス、電話、と同じように生活を支える「インフラ」

冷蔵倉庫は、世界や日本各地から集まった食品を必要な時に必要な量を供給するための保管場所



## 業界の課題1

### 施設の老朽化により、施設の建て替えが必要

- ✓ 多額の建て替え建設コスト
- ✓ 建て替え用地不足

築40年超の冷蔵倉庫の割合

日本国内  
33%

※2024年12月 日本冷蔵倉庫協会資料より

## 業界の課題2

### フロンガス製造終了による設備の切り替えが必要

- ✓ 冷媒切替コストは1棟あたり数億円

2020年に  
従来型  
フロンガスの  
製造終了

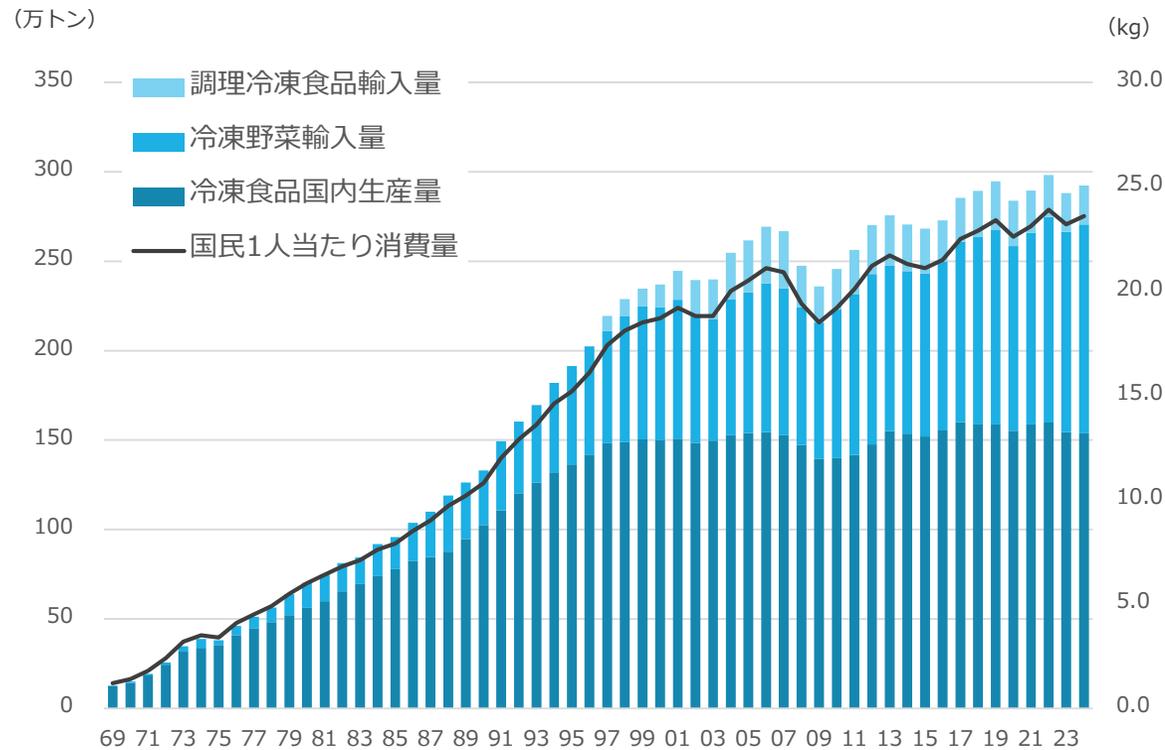


## 莫大な資金が必要

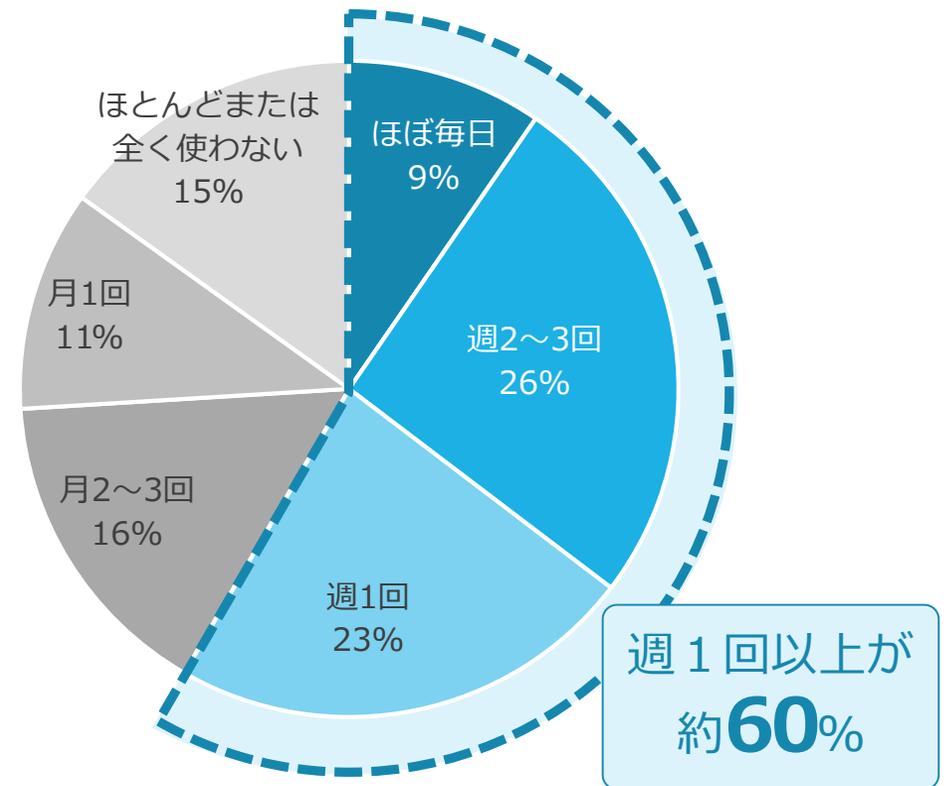
# 業界環境③ 冷凍食品の消費量推移

- 冷凍食品の消費量は、継続的に増加傾向

冷凍食品国内消費量の推移※1



冷凍食品の利用頻度(2025年2月) ※2



※1：一般社団法人 日本冷凍食品協会 統計資料 冷凍食品国内消費量の推移より

※2：日本冷凍食品協会「冷凍食品の利用状況」実態調査」P.12図1を基にグラフを作成。 N = 10,000 人

より広いスペースと、貨物の種類や状態にあわせての  
適切な管理体制も重要になってくる

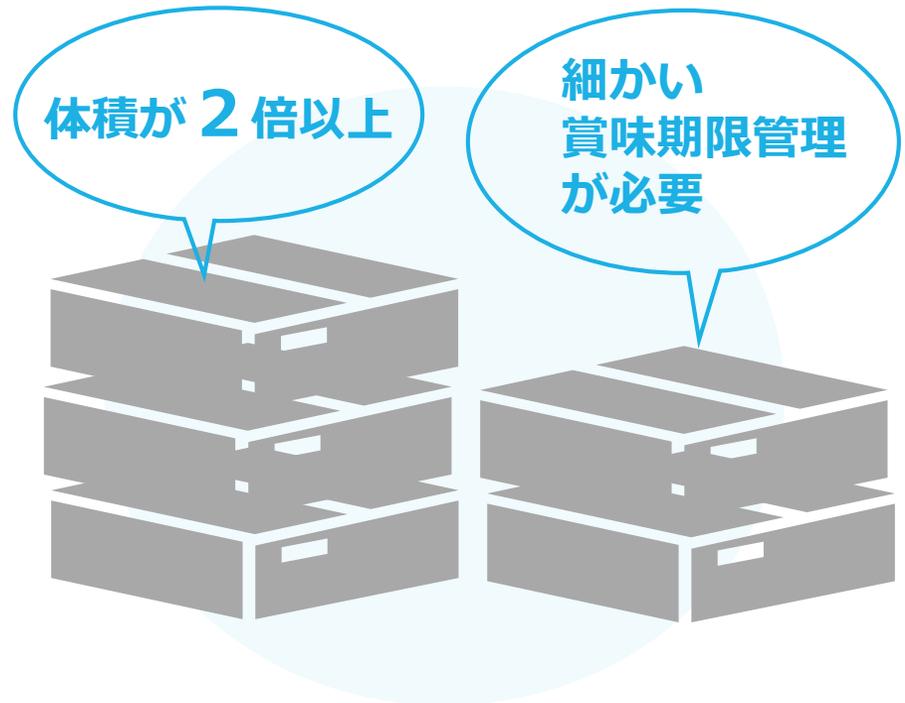
原料貨物

例 | ブラジル産鶏もも肉 12kg



冷凍食品

鶏のからあげ 12kg



## 国内、海外ともに拠点拡大中

### 冷蔵倉庫拠点数※

日本 **56** 箇所



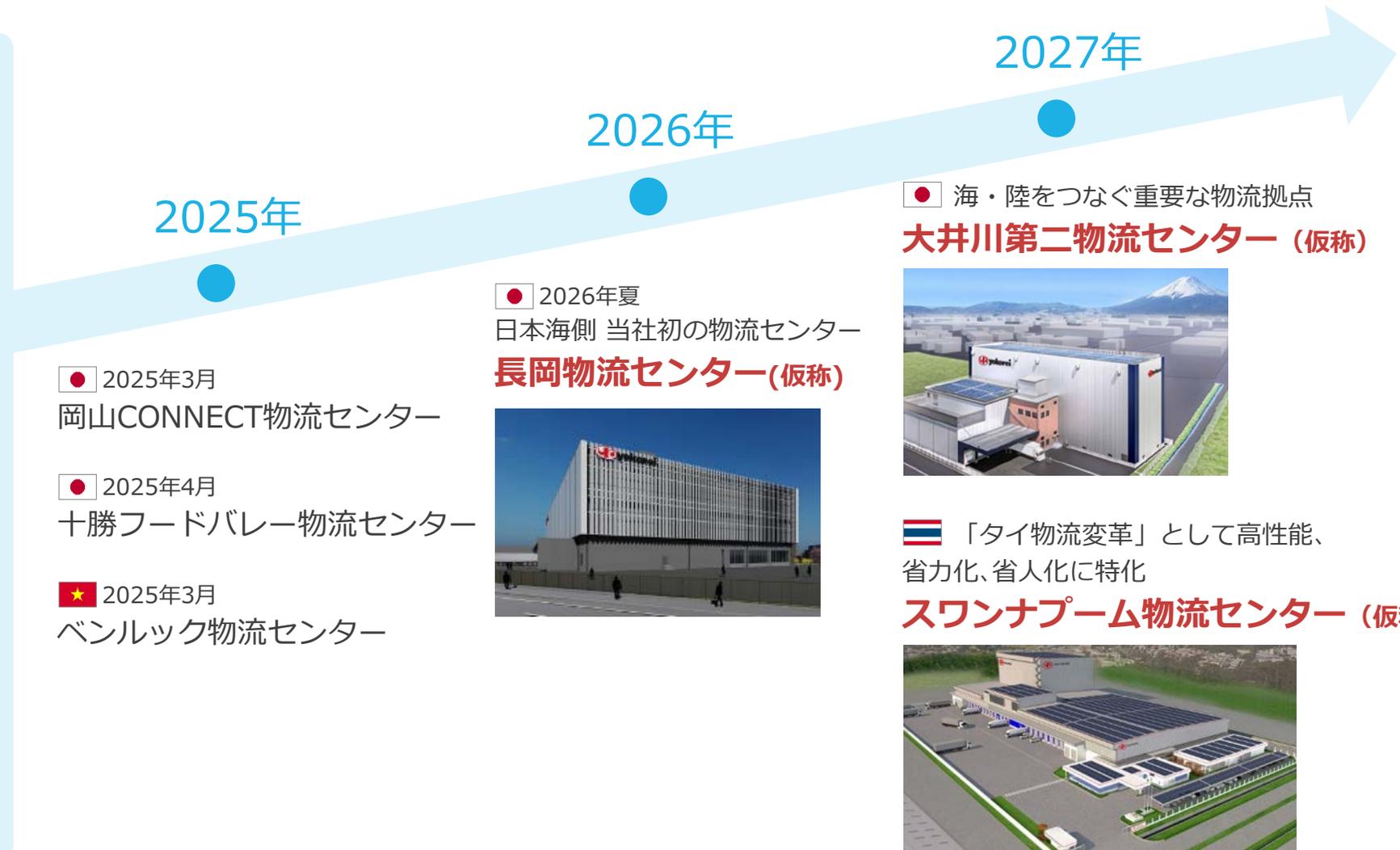
北海道・東北	12箇所
圏央	7箇所
京浜	7箇所
中京・東海	6箇所
阪神	7箇所
九州	16箇所
連結子会社	1箇所



海外 **6** 箇所



※：2025年4月末時点



## ベトナム ベンルック物流センター竣工

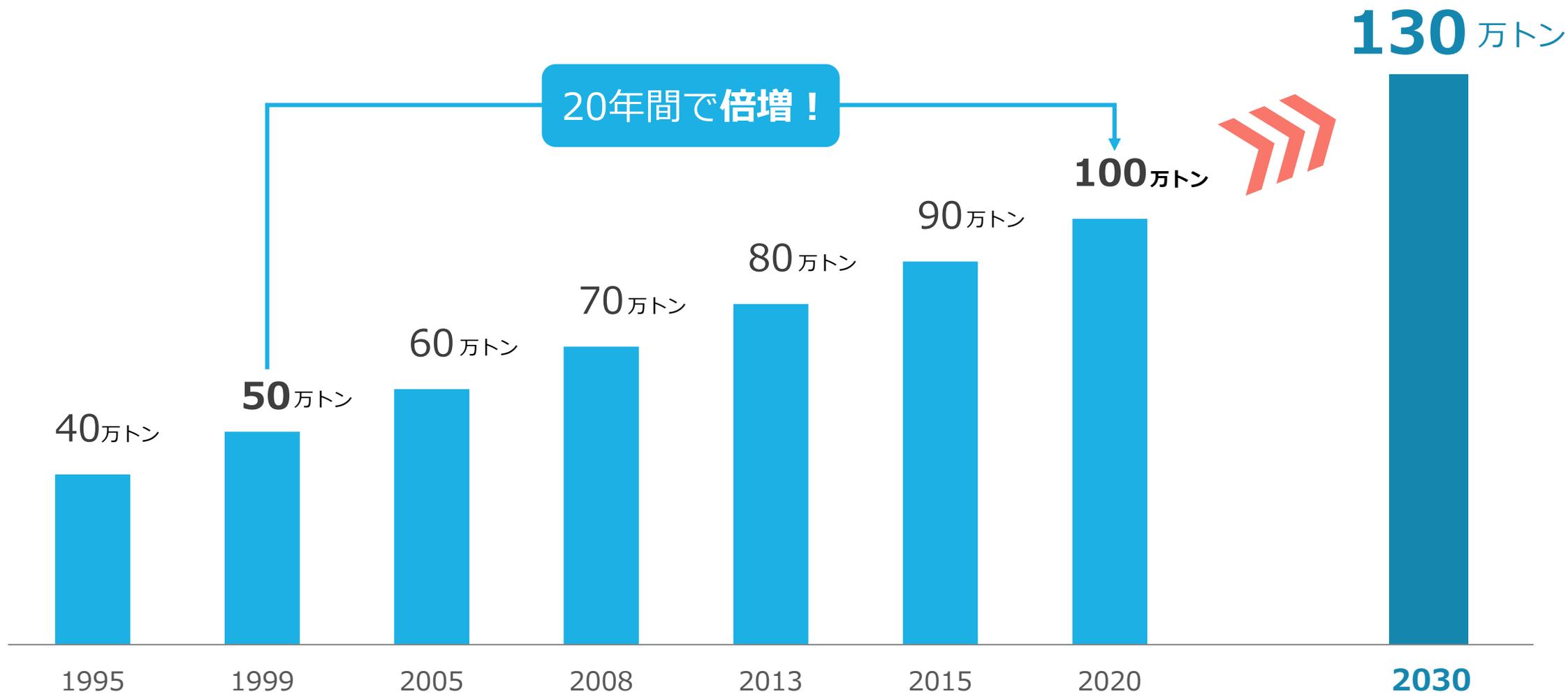
- ベトナムのロンアン省ベンルック県に**当社ベトナム初進出となる物流センターを竣工**
- ヨコレイグループ初の自動倉庫（自動ラック）やグループ最大級の大容量太陽光発電設備880Kwなど、**最新鋭の設備を導入**

ホーチミン市と、  
ベトナム南西部のメコンデルタ地区を  
繋ぐ物流拠点



- 収容能力 約45,000トン（約18,000パレット）
- ヨコレイグループ初の自動倉庫を採用
- 最新鋭の設備

## 事業規模拡大中！



3タイプの冷蔵倉庫で多種多様な食品の保管・物流ニーズに対応

## ヨコレイの冷蔵倉庫

### 港湾型

コンテナ船が着岸できる主要貿易港に位置する。製品や食品原材料の輸入貨物を中心に取扱い、通関サービスも提供。



伸びている!

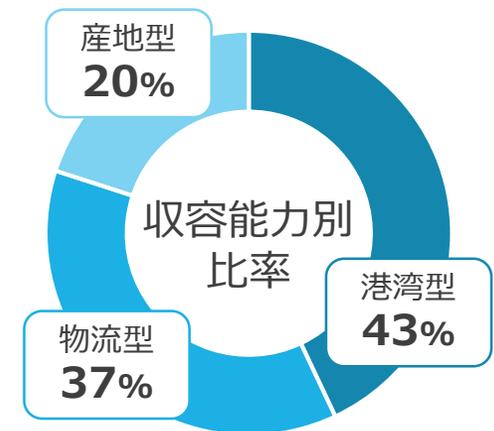
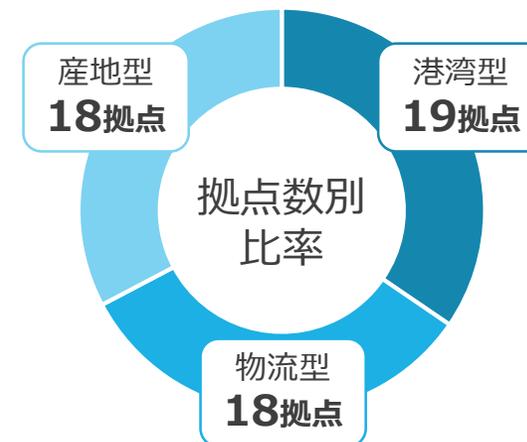
### 物流型

主要幹線道路のインターチェンジ等に位置する。タイムリーな供給が求められるコンビニや量販店、外食チェーン等の製品を保管・配送。



### 産地型

全国の主要な漁港や農産地に位置する。水揚げされた水産物や収穫された農産物を最適な温度帯で保管。



※2025年4月末現在

## 多種多様な取引先基盤

### 主な取引先



メーカー、商社、問屋など

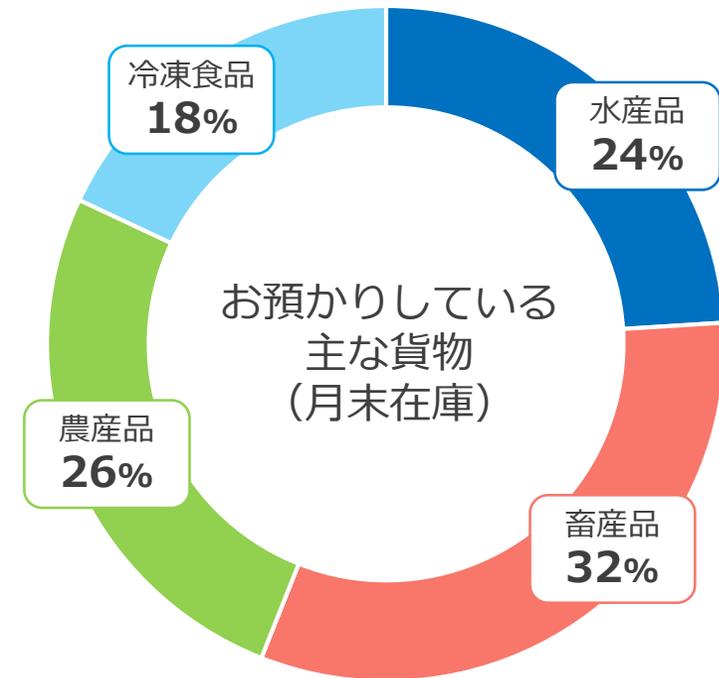
### 取引先数



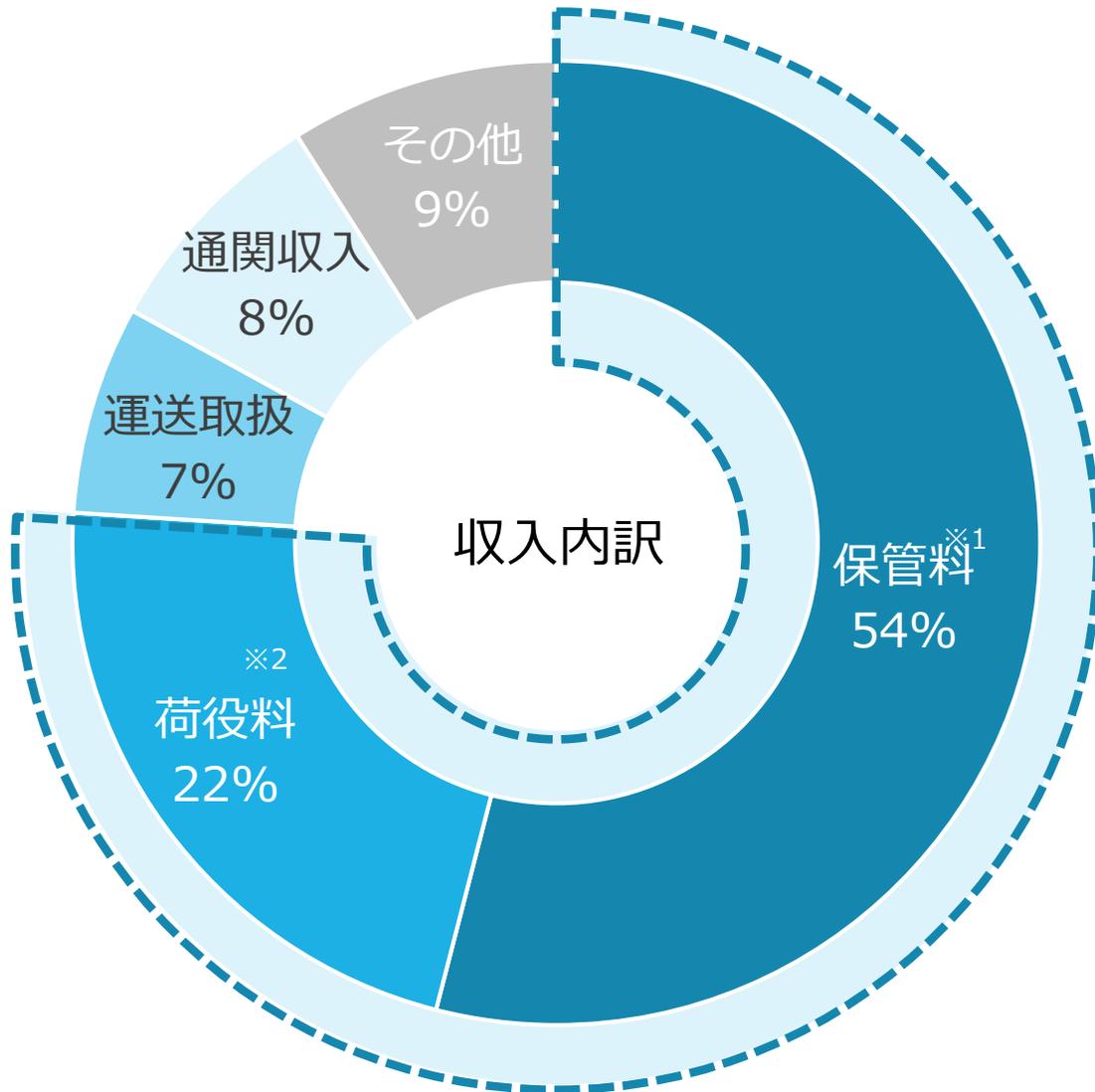
3,000社以上

最も取引が多いお客様  
でも売上の約5%

## 常に安定した需要がある食品が主体



※2024年9月期決算数値より



保管料、荷役料の  
安定収入が**7~8割**

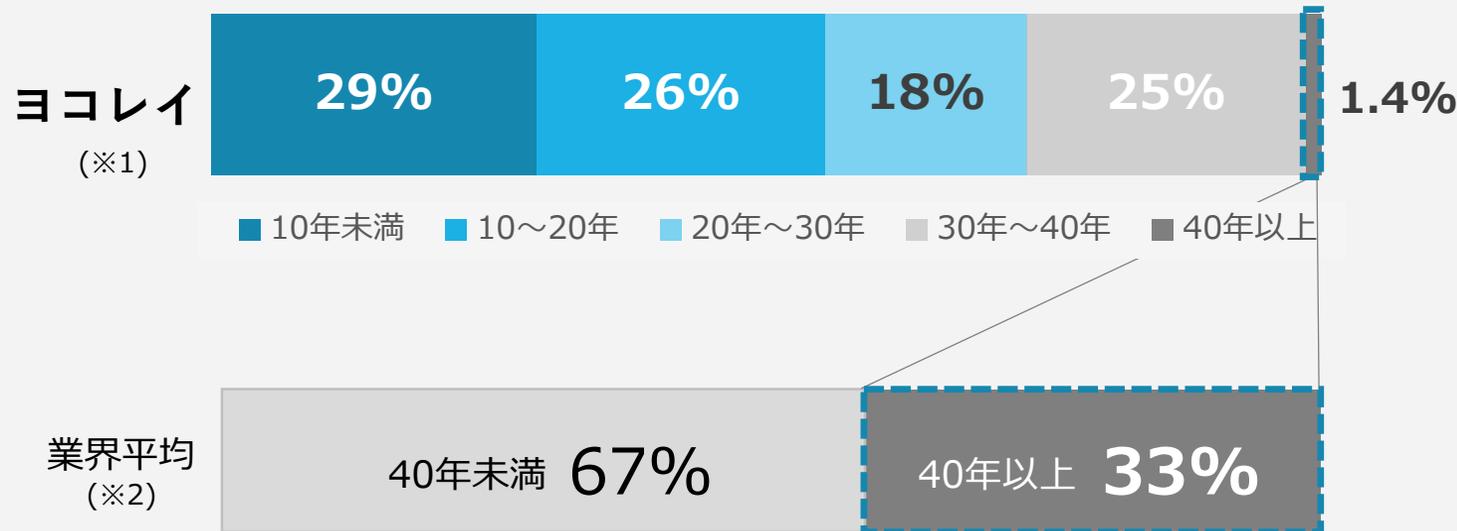
※2024年9月期決算数値より

※1 保管料  
貨物の種別、量、期間によって決まる  
料金体系

※2 荷役料  
貨物の入出庫作業にかかる手数料

### 設備の築年数分布

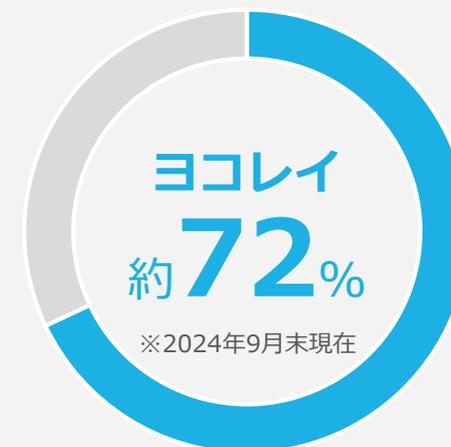
築40年以上はわずか**1.4%**  
 築20年以下の新しい冷蔵庫が**5割超**



※1：2025年4月末現在、海外も含むデータ

※2：2024年12月日本冷蔵倉庫協会資料より

### 脱フロン化 (自然冷媒導入率)



※日本冷蔵倉庫協会冷媒調査結果より  
 (2023年度調査：51.4%)

## 業界最新の自然対流の冷却方式



✓ 冷風による冷却むら・冷凍焼けが起こりにくい  
「自然対流冷却方式」を大手で唯一採用

✓ 長期間、高品質な保管が可能

## 自社社員によるオペレーション



✓ 倉庫内のオペレーションを自社社員が実施

✓ 蓄積された商品知識とノウハウ

## デバンパレタイズシステム (DPS)

- ✓ 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化
- ✓ 従来の半分以下の人員での作業が可能に



## トラック予約受付システム

- ✓ トラックの長時間待機問題の解決に向けた取り組み
- ✓ ホワイト物流推進の自主行動宣言



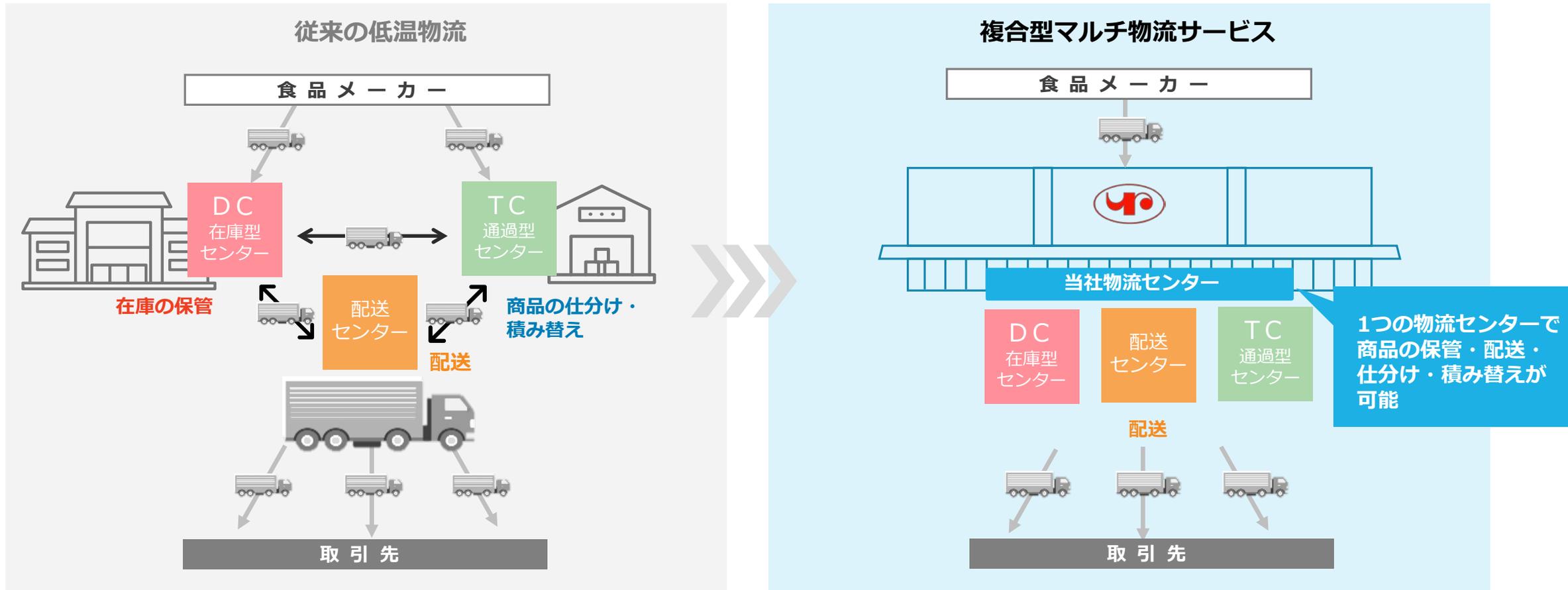
## カーゴナビゲーションシステム

- ✓ 入出庫作業を大幅に効率化
- ✓ 誰でも「短時間に」「迷わず」「正確な作業が行える」
- ✓ オンライン上でお客様の在庫を管理



# 経営環境の変化を先取りした事業モデルを創造

冷凍食品の増加、ドライバー不足、環境問題への対応策となる「複合型マルチ物流サービス」施設の運営を開始



付加価値を高め、顧客から選ばれる冷蔵倉庫へ進化

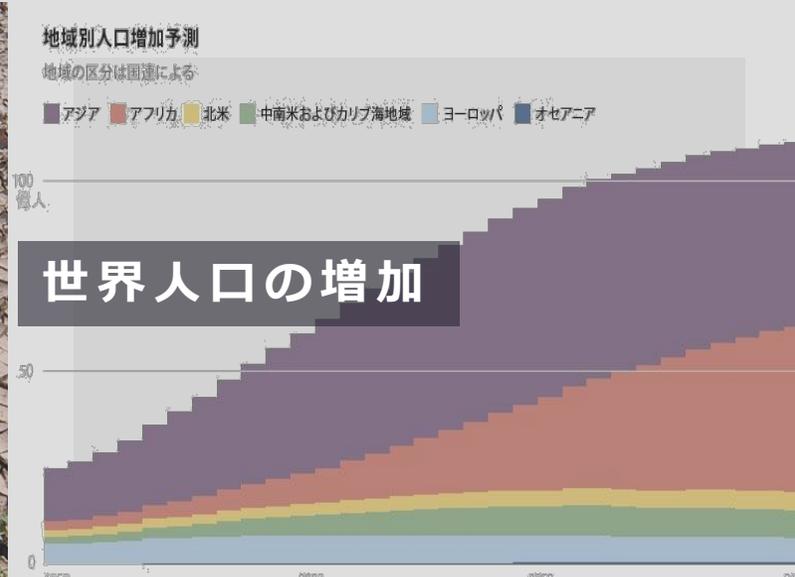
# 3

## 食品販売事業

FOOD SALES BUSINESS

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

## 食糧資源の確保に関する課題



## 事業機会

安定した食糧調達先の確保が今後の成長へのカギとなる

## 国内外で良品を見極める、ヨコレイの「調達力」



### 水産事業

- ✓ 東南アジア・南米のエビ、北欧のサーモンなどを、国内の加工メーカーや問屋に販売
- ✓ 国内のサバ、ホタテ、イワシなどの水産品を国内外に流通



### 畜産事業

- ✓ スペイン産のイベリコ豚やチリ産のポーク等、ポーク・チキン・ビーフなどの主要畜産品を北米・ブラジル・豪州などから調達

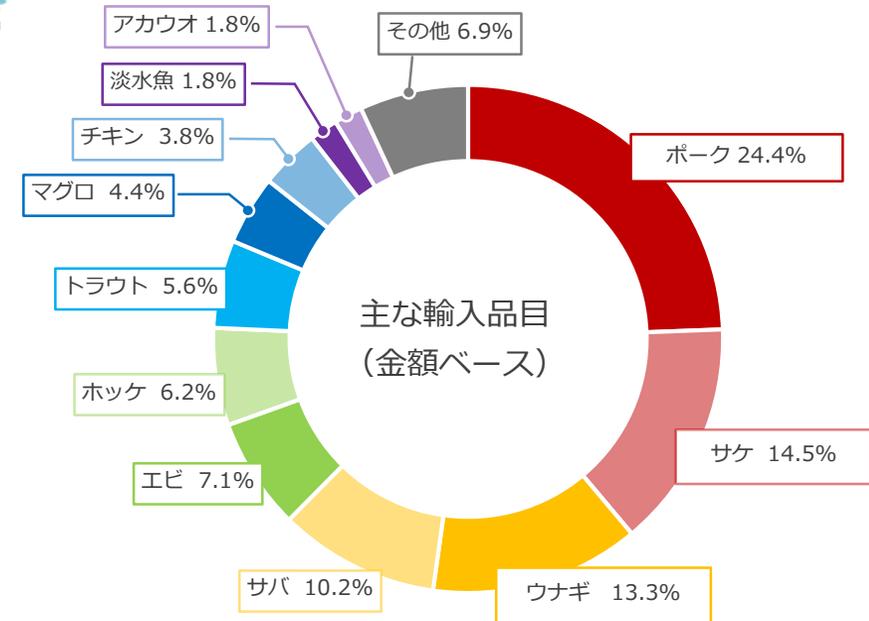


### 農産事業

- ✓ 北海道の豊かな大地が生んだ農産品を、全国各地のメーカーや卸売業者に販売

# 強み① 調達・供給の海外ネットワーク

輸入品は、主要調達先である北欧や東南アジアをはじめ、北米、南米、オーストラリアなど、世界各国より調達



※2024年9月期決算数値より

## ばいさんけん 国内の主要11か所で買参権※を保有

市場での買い付けから、凍結、保管、国内外への販売まで一気通貫の仕組みを構築

プライム上場企業で唯一  
買参権を保有



松浦 唐津  
平戸 佐世保  
長崎 枕崎



※：買参権・・・市場でセリに参加することができる権利

# 強み③ 仕入れから販売までのすべての業務を自社で実施



海外から



国内から



独自の強み

\\ **一気通貫** // に対応

水産品・畜産品・農産品を  
適切な価格で、かつ安全性  
を確保して安定供給

## 改革

### 収益性向上のための 構造改革

- 1 DXによる営業支援、事業の改革とリスク軽減を図る
- 2 販売推進事業部を設置し、国内外への販路拡大を行う

国内

商品開発・製品販売の推進  
養殖魚の取扱いを強化

海外

ASEAN、北米、欧州への  
原料・日本食の販売推進

### 事業品<sup>※1</sup>・全社取組商材<sup>※2</sup>の 販路拡大

当社の強みである調達力を  
活かした商材の販売拡大

- ノルウェーサーモン
  - ペルー水産品
  - 凍結加工品
  - 養鰻品
  - 大西洋サバ
  - ホッケ
  - ホタテ
- 等

※1 事業品：投資先商材・自社生産品

※2 全社取組商材：一括仕入商材

## 成長

### 独自商品と販売網の開発

お客様のニーズに沿った  
満足度の高い商品を  
ヨコレイ独自の強みで提供

- ▶ 独自商品の開発
- ▶ 医療食販売の強化
- ▶ 販売網の開発

### 海外における販路拡大

既存商圏の販売強化  
海外パートナーの販路を活用  
した日本食の販売

#### 既存商圏

ASEAN

中南米

#### 新規商圏

北米

欧州

# 4

## 成長戦略

GROWTH STRATEGY

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

		2024年9月期実績	2030年目標
全社目標（連結）	売上高	1,222億円	<b>1,700億円</b>
	営業利益	46億円	<b>100億円</b>
	EBITDA	120億円	<b>170億円以上</b>
	ROE	5.2%	<b>7%達成</b>
	自己資本比率	38.5%	<b>40%以上</b>
冷蔵倉庫事業	売上高	351億円	<b>400億円</b>
	セグメント利益	71億円	<b>100億円</b>
食品販売事業	売上高	870億円	<b>1.300億円</b>
	セグメント利益率	1.7%	<b>3.0%以上</b>

## 「繋ぐ力」 新・中期経営計画（第Ⅱ期） 2024年9月期～2026年9月期

### 2026年9月期数値目標

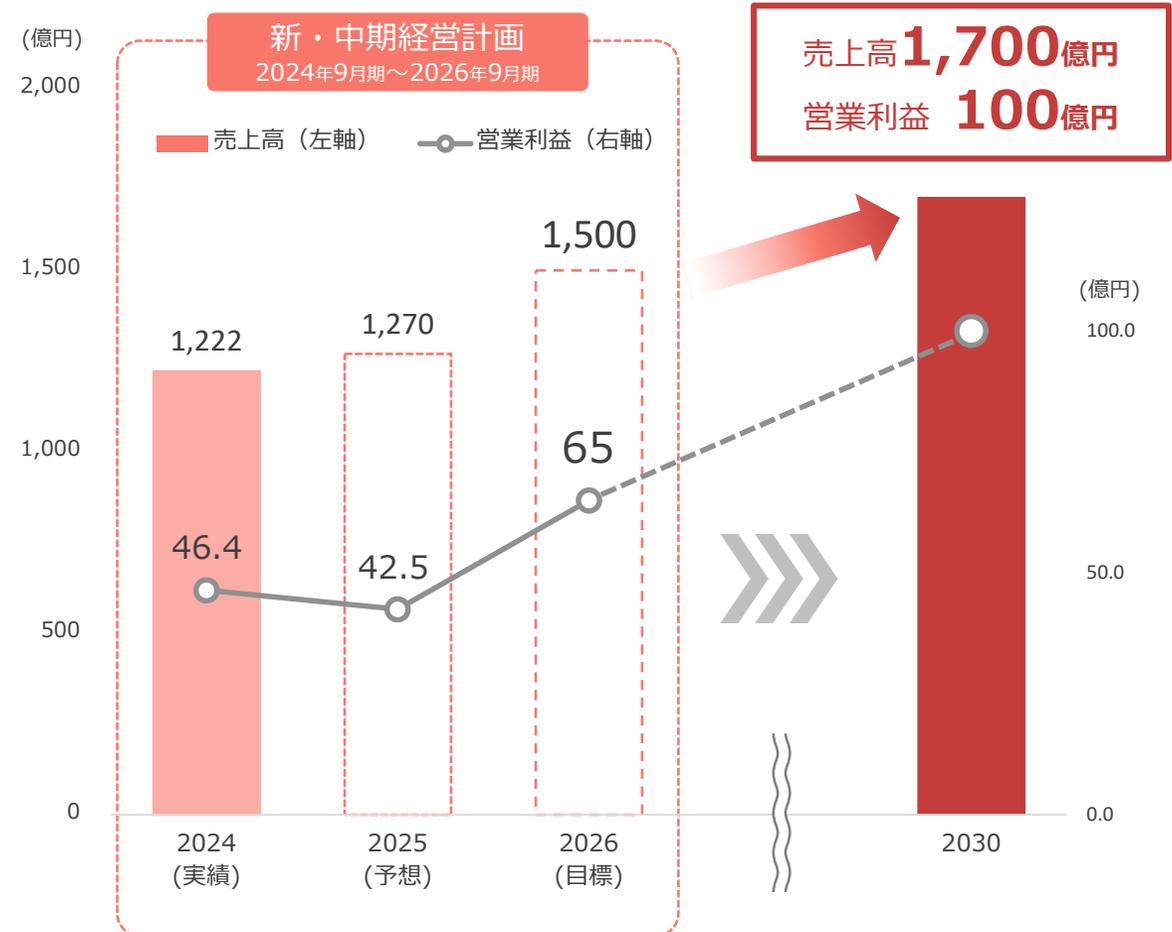
売上高 **1,500**億円      営業利益 **65**億円      EBITDA **130**億円

ROE **5%以上**      自己資本比率 **40%台を維持**

冷蔵倉庫事業      売上高 **360**億円      セグメント営業利益 **80**億円

食品販売事業      売上高 **1,140**億円      セグメント営業利益 **25**億円

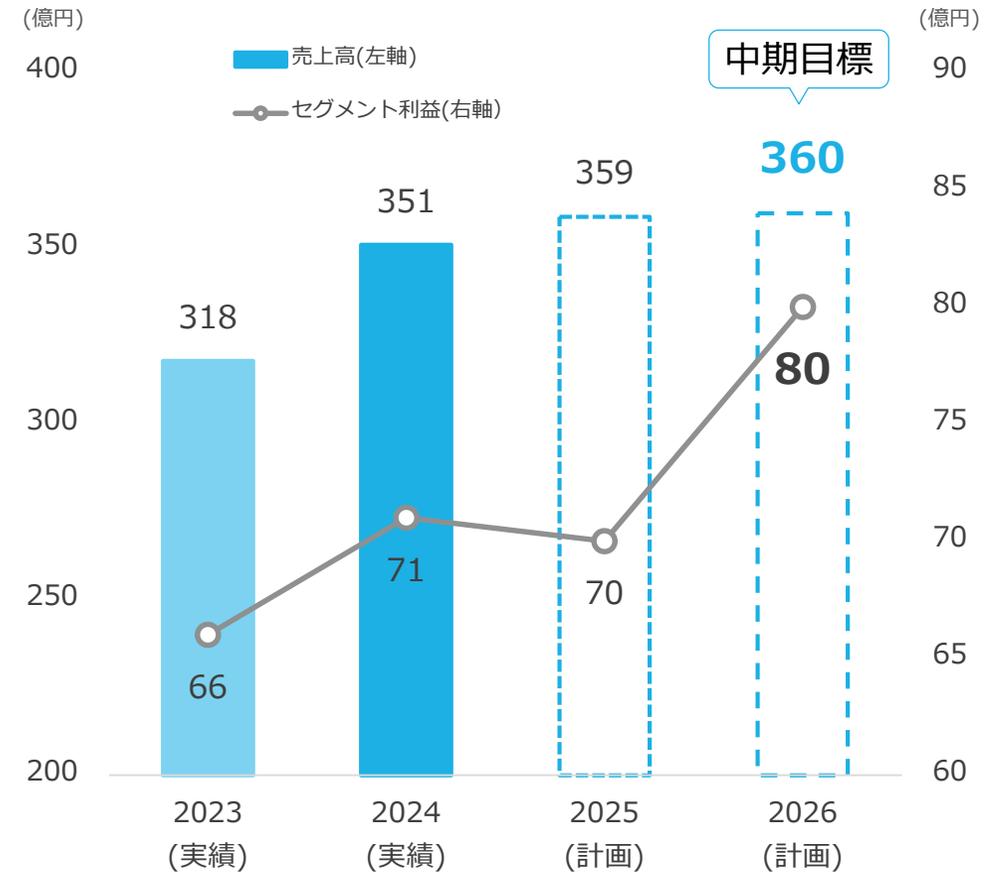
経営基盤      生産性を向上させ事業の成長スピードを加速化させる



- 環境配慮型センターの竣工が順調に進み、**売上高・利益ともに順調に拡大**
- スマートコールドサービスによる作業の効率化・省エネ化の推進により、更なる企業成長を目指す

## 中期経営計画重点施策

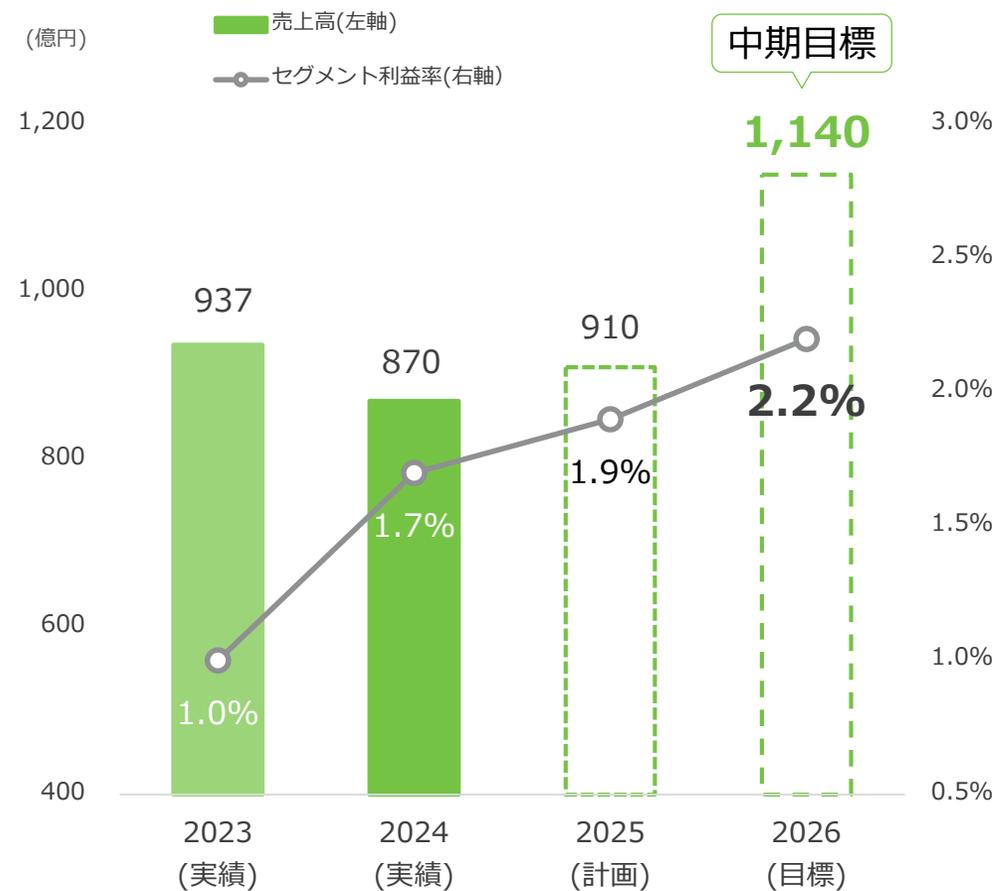
- 1 環境配慮型センターの加速化
- 2 スマートコールドサービスの実現
- 3 ASEANグローバル展開



- 構造改革による収益性向上により、**セグメント利益率が大幅に改善 (+0.7pt)**
- 国内外の販路拡大および独自製品の開発をすすめ、中期目標達成を目指す

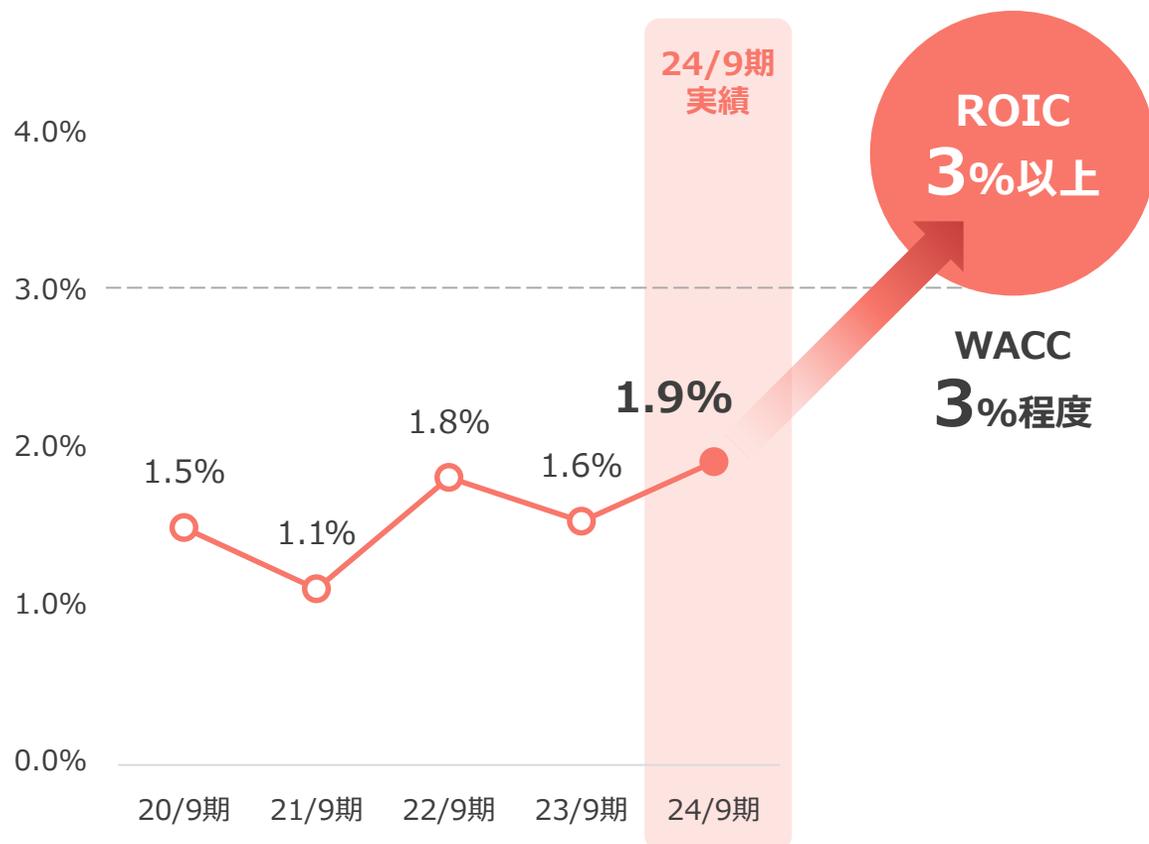
## 中期経営計画重点施策

- 1 収益性向上のための構造改革
- 2 事業品・全社取組商材の販路拡大
- 3 独自商品と販売網の開発
- 4 海外における販路拡大



- 現在：株主資本コスト 6%~7%、WACC(加重平均資本コスト) 約3%
- ヨコレイ事業ビジョン2030の方針に沿い事業価値の向上を推進し、ROIC3%以上の早期達成を目指す

## 連結ROIC実績



経営改善に向けた全部門実行方針  
投資の適正化による財務健全性の維持

### 冷蔵倉庫事業

- セグメント営業利益率を安定的に確保しつつ、成長投資を適切なタイミングで実行し投下資本の最適化を図る
- ※：成長投資とは新設投資や企業価値の向上が見込まれる設備更新工事を示す
- ※：既存設備と新規設備とは固定資産額に大きな差異があるため、ROICではなく従来通り営業利益率を重視

### 食品販売事業

- 棚卸資産の改革
  - ➡ ROICの導入によるキャッシュコンバージョンサイクルの改変
- 事業別ROIC導入による組織的販売の厳格化
  - ➡ 2026年9月期予算編成においてROIC指標を導入
- 投資に係る審査基準の明確化
  - ➡ 投資実行から事後評価まで管理する投資評価プロセスの高度化

# 5

## 持続可能な社会へ

ーサステナビリティへの取り組みー

For the sustainable society - SDGs ACTIVITY -

### 経営理念

「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へーサステナビリティへの取り組みー
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

## 明るい食の未来へ

～ヨコレイは食の安定供給により、持続可能な社会に貢献します～

### マテリアリティ

地球環境との共生

より高い品質・サービスの提供

地域社会とともに発展

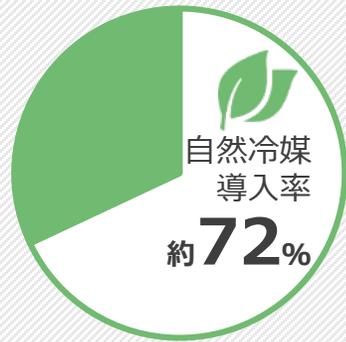
働きがいのある職場づくり

経営基盤の強化・健全性の確保

## 環境に配慮した 自然冷媒による冷却システム

業界でもいち早く冷媒をフロンから、  
環境にやさしい自然冷媒（NH3、CO2）  
へ切り替え

業界トップクラス



## 太陽光発電システム による発電能力及びCO2削減量

冷蔵倉庫で太陽光発電システムが稼働



物流センターの屋上に設置された太陽光発電  
モジュール

## 省エネな冷蔵倉庫

業界平均より電力使用が  
**10%** 少ない

収容能力1000トンあたり  
の電気の使用量

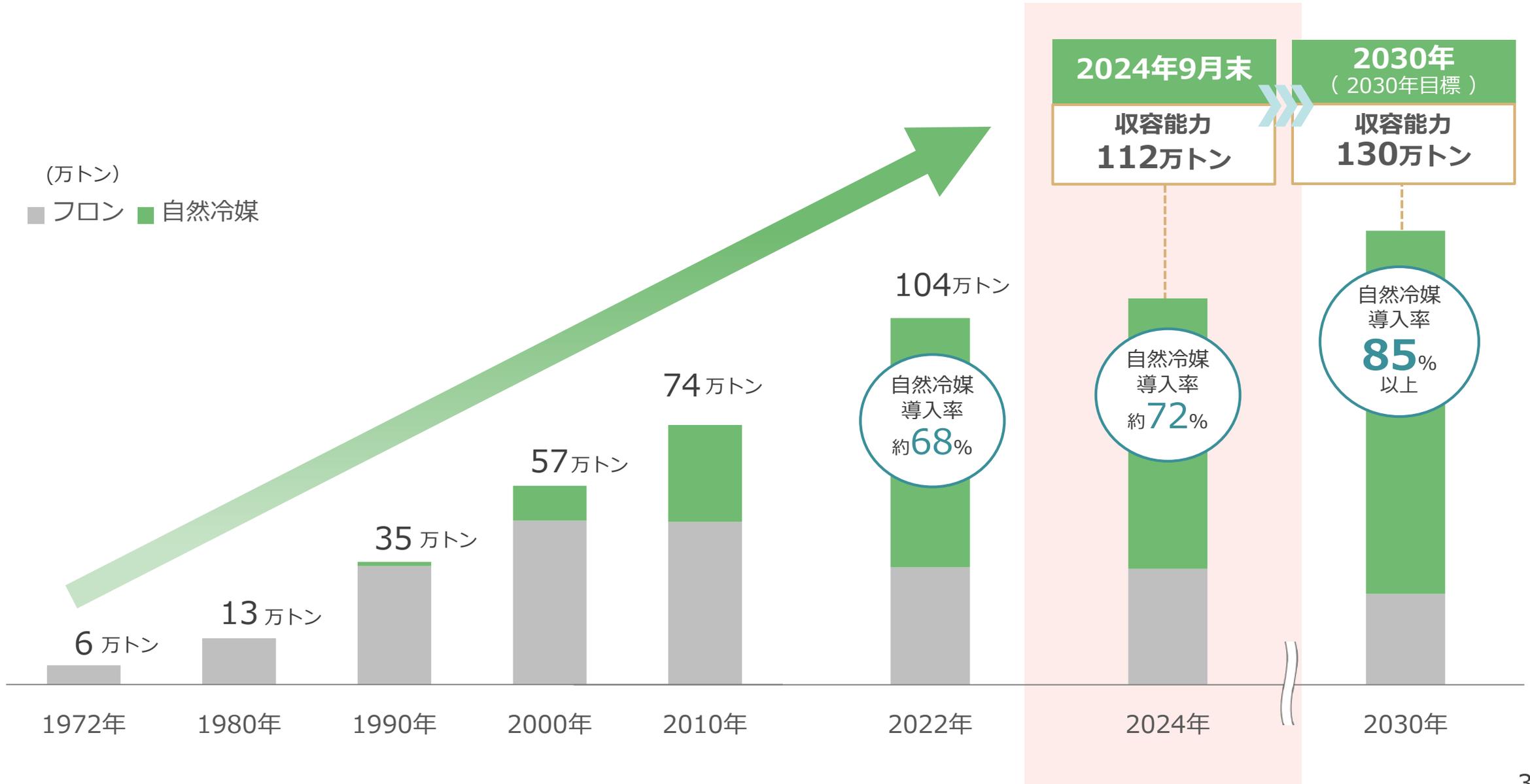
業界平均 : 162 MWh  
当社 : **145 MWh**

日本冷蔵倉庫協会  
冷蔵倉庫実態調査 2023年版 より

✓ 自然環境・地球にやさしい物流を実現      ✓ 電気料金高騰の影響が業界平均よりも少ない

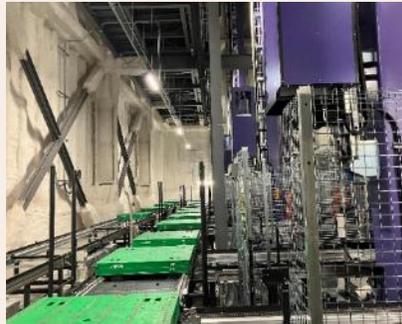
温室効果ガスのサプライチェーン排出量を意識する顧客に選ばれる冷蔵倉庫へ

# 環境配慮NO.1 自然冷媒の割合と冷蔵収容能力



## 省人化 & 自動化

### 省人化・自動化システムの導入



- ベトナムベンルック物流センター、十勝フードバレー物流センターに全自動倉庫システムを導入
- 大幅な省人化を実現



- 作業用ロボットを使用したデバンパライズシステム（DPS）を導入
  - 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化

## ダイバー シティ

### ダイバーシティへの取り組み



- 女性・外国籍の活躍
- キャリア継続を支援
- 働きやすい職場づくりの推進



## 働き方 改革

### スマートオフィス



- 事務作業が遠隔でできるスマートオフィスを開設
- 通勤時間の短縮、および複数事業所の業務を一括集約処理することで少人数での効率的な事務処理が可能に



## 地域貢献

### スポンサー活動による地域貢献



©YDB



- 地域スポーツクラブの支援
- 日本将棋連盟「研修会」運営の支援
- えのすいecoサポーターとして新江ノ島水族館のエコ活動に協賛



## 地域貢献

### 利益の一部を寄付として社会に還元

1973年から毎年寄付を継続的に実施  
【2024年度】寄付件数: 20件



- 横浜市教育委員会への協賛
- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団への寄付
- 日本将棋連盟への支援

「よこはま子ども国際平和プログラムスピーチコンテスト」に協賛



## 社会貢献活動

### 全国食支援活動協力会へ保管場所を提供



東京羽田物流センターで、全国食支援活動協力会  
ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS)  
の中核ロジ拠点として保管場所の提供を開始



- MOWLSとは、全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム
- MOWLSは支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを目指す

#### 中核ロジ拠点



県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫

- ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の指数である「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄選定
- 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも継続選定



**FTSE Blossom  
Japan Index**



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**

# 6

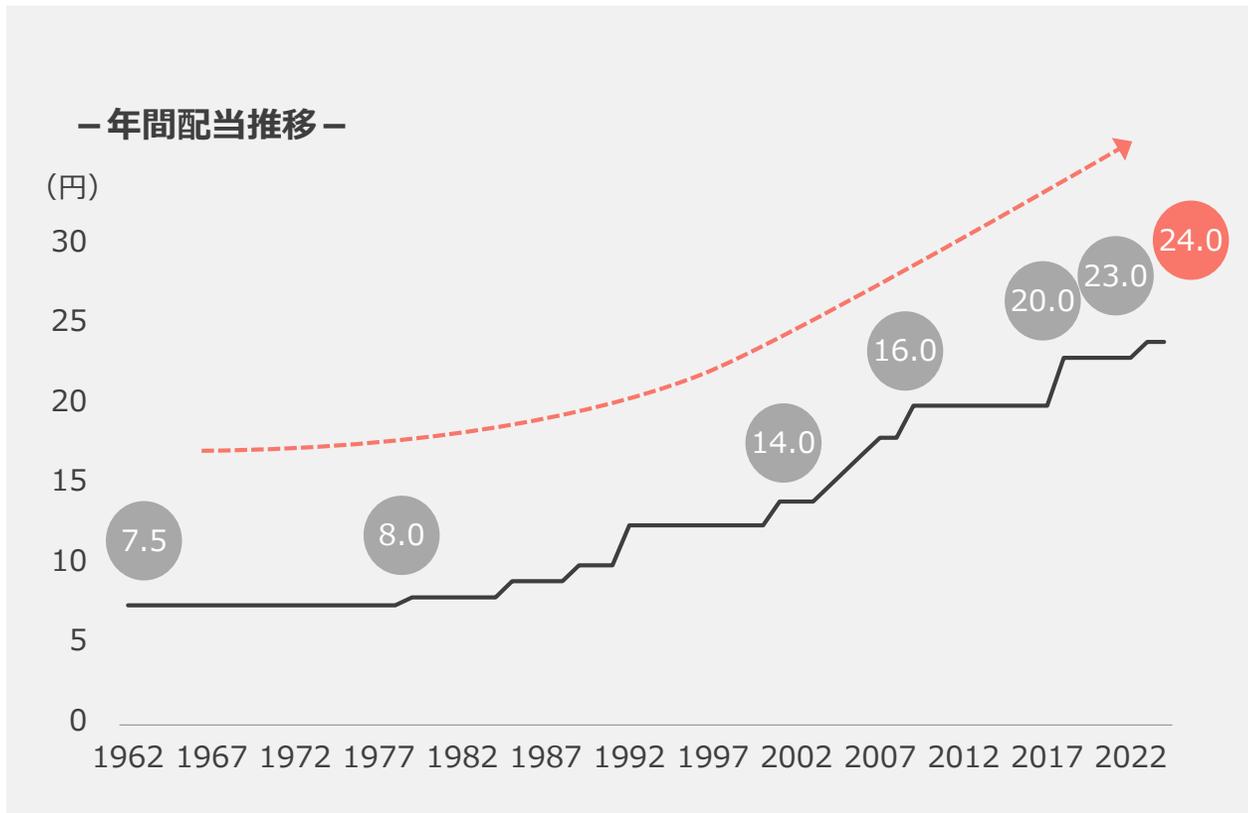
## 株主還元について

Shareholder return policy

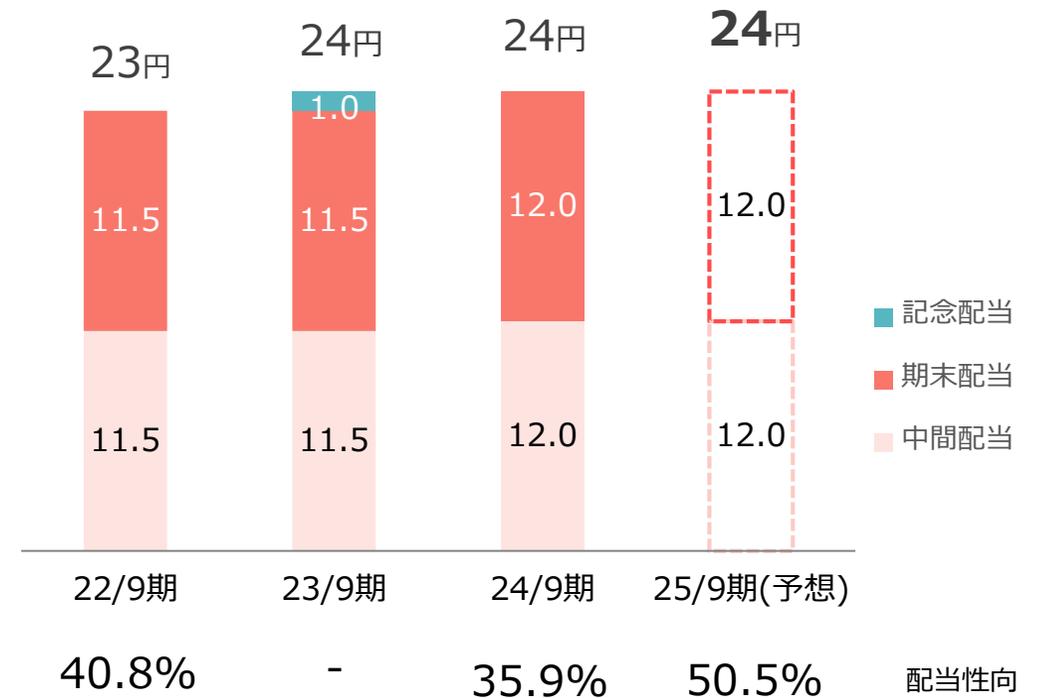
1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

## 着実な成長と累進配当

1962年の東証二部上場以来、半世紀以上増配を継続



25/9期予想 年間 **24円**



## －株主優待－（2025年9月期予定）

1,000株以上～3,000株未満  
1年以上継続保有の株主様

🌟🌟 2025年9月期よりリニューアル 🌟🌟

### ノルウェー産サーモントラウト製品・ うなぎ蒲焼セット

- サルモントラウト寒風干し（3切×1パック）
- ホットスモークサーモン（80g×1パック）
- 国産うなぎ 三つ葉亭（1尾×2パック）



3,000株以上  
1年以上継続保有の株主様

### 北海道産ホタテ・イクラセット

- 特選イクラ醤油漬け（鮭卵500g）
- 生食用ホタテ貝柱（Lもしくはは2Lサイズ1,000g）



100株以上  
保有の株主様

### 株主様向け ECサイトでの購入権

- 左記優待品2種等を  
株主様向けECサイトにてご購入



株主優待の詳細については  
こちらから

# 7

## 本日のまとめ

SUMMARY

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料

# 食品流通のエキスパート

お客様の大切な貨物を守り、世界中の食材を安定供給し、  
日本の食の安全・安心を今後もつないでいきます



累進配当と充実の株主優待で株主様へ還元



安定した冷蔵倉庫事業と調達力に優れた食品販売事業で持続的に成長



# 8

## 資料

SOURCE BOOK

1. ヨコレイの概要（プロモーションビデオ）
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 成長戦略
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. 株主還元について
7. 本日のまとめ
8. 資料



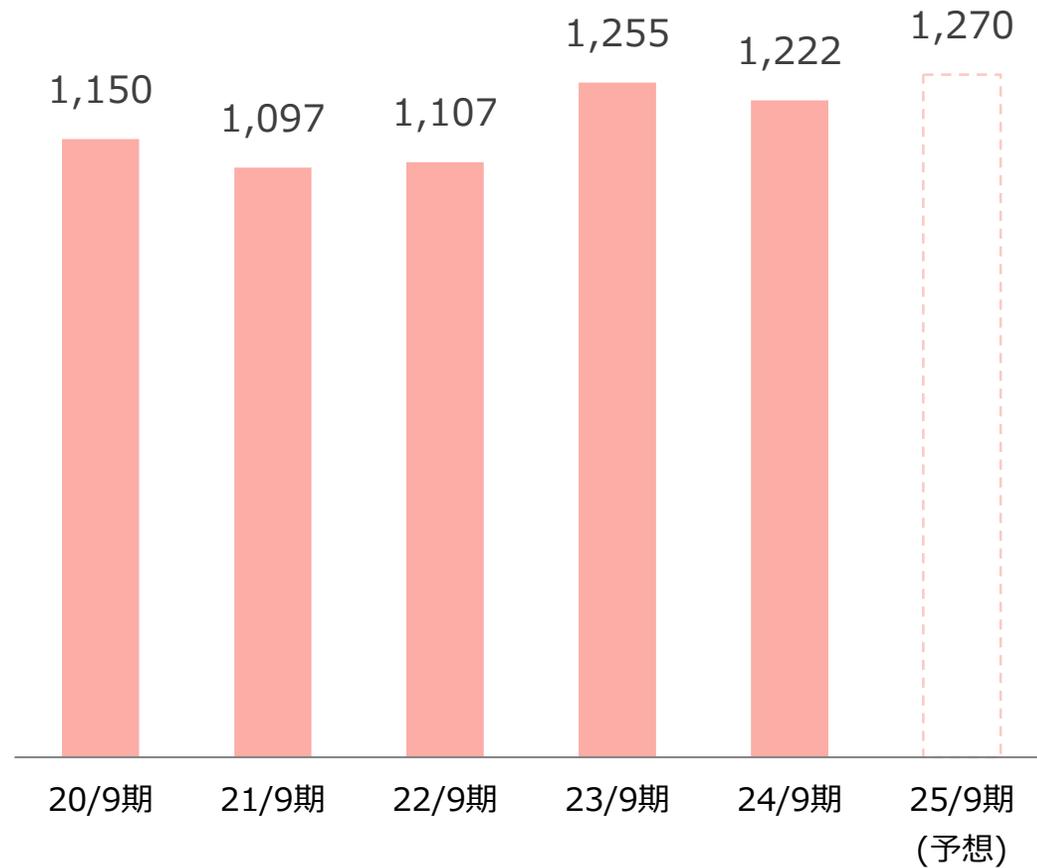
ヨコレイ本社 (横浜コネクストスクエア10F)

会社名	横浜冷凍株式会社		
本社所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号 横浜コネクストスクエア10F		
設立	1948年5月13日		
代表者	取締役会長	吉川俊雄	
	代表取締役社長	古瀬健児	
資本金	14,303百万円		
事業拠点	冷蔵倉庫事業	国内54	海外6
	通関事業	国内6	
	食品販売事業	国内21	
従業員数	連結	1,735名	単体 1,380名
上場証券取引所	東証プライム (証券コード 2874)		

※2025年3月31日現在

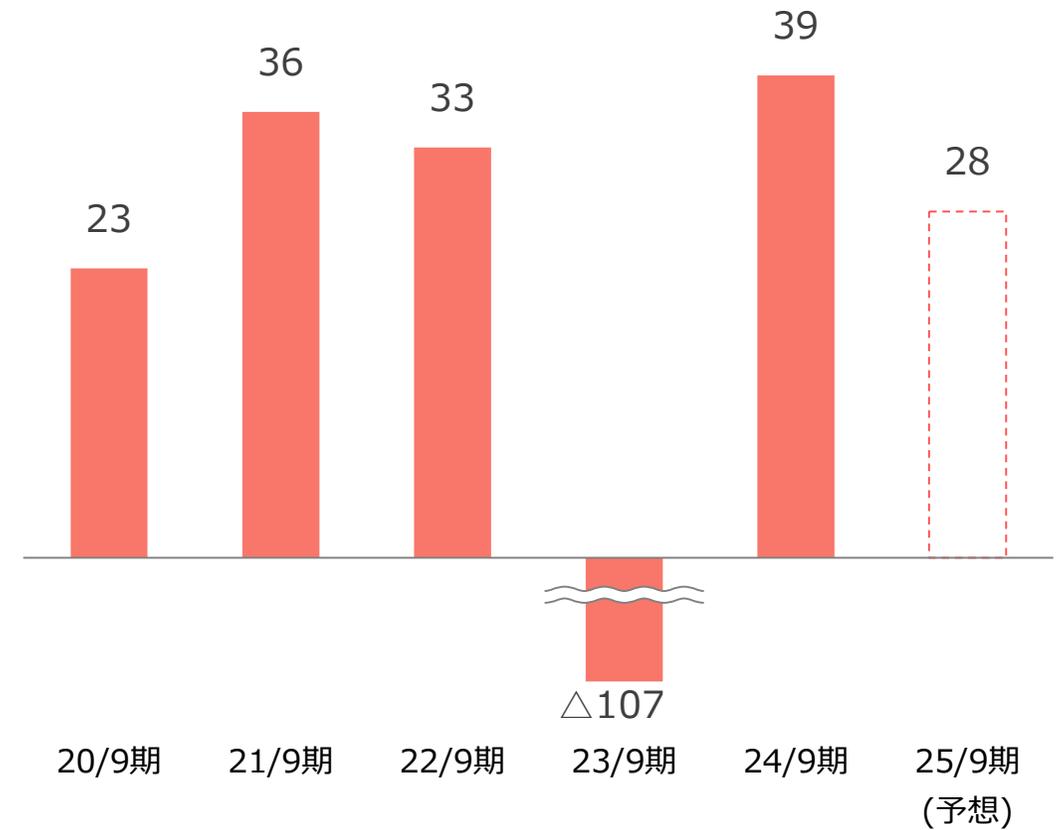
## 売上高推移

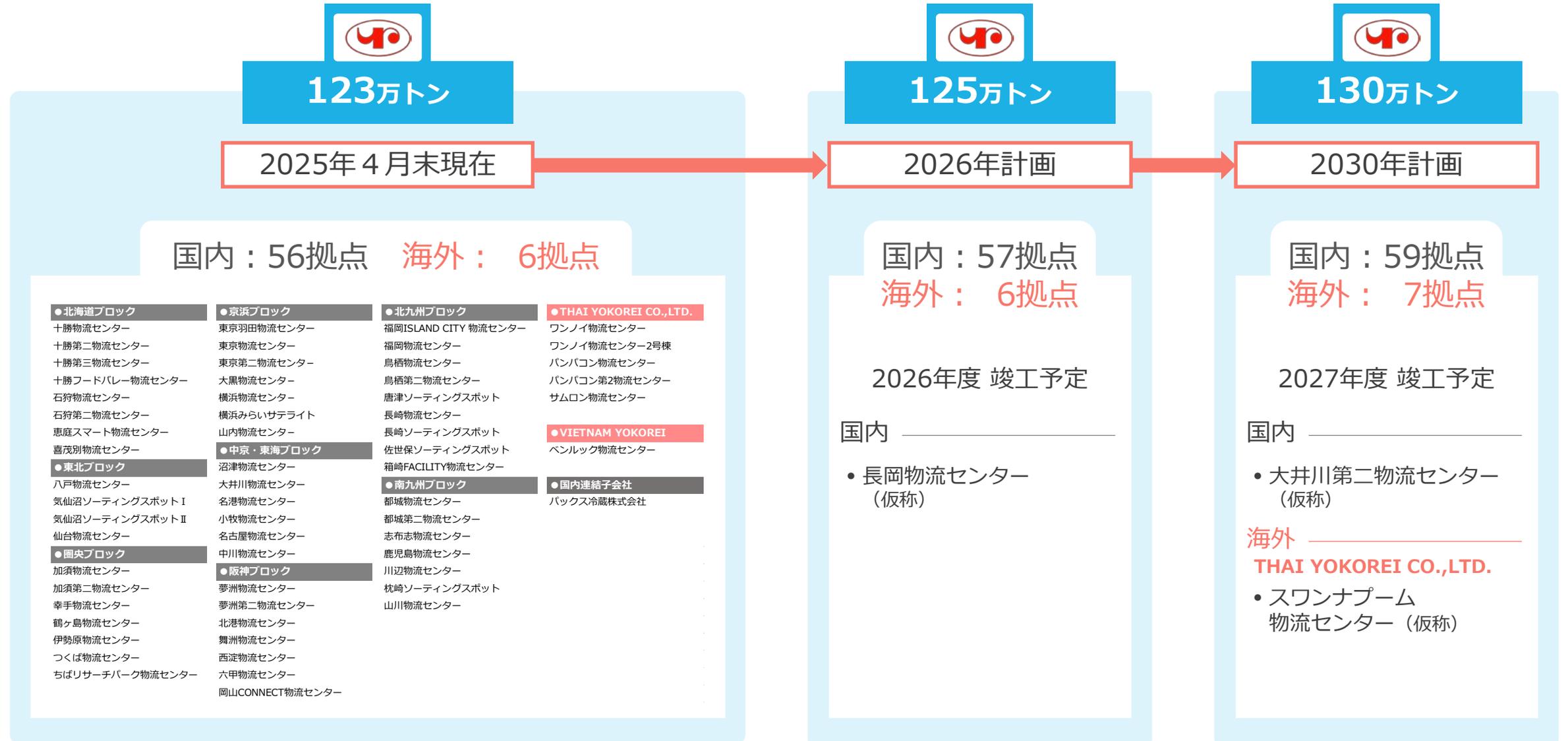
(単位：億円)



## 当期純利益推移

(単位：億円)





※：2025年4月末時点の情報より

※：拠点数・収容能力の数値は、国内外の連結子会社含む

## 食品販売事業：営業拠点※1

北海道事業部	札幌営業所
	十勝営業所
海外事業部	海外営業第1営業所
	海外営業第2営業所
広域販売事業部	東京営業所
	名古屋営業所
	大阪営業所
	沼津営業所
畜産営業部	畜産広域営業所
	畜産東海営業所
東日本事業部	気仙沼営業所
	仙台営業所
	銚子営業所
	茨城営業所
	八戸営業所
西日本事業部	福岡営業所
	唐津営業所
	佐世保営業所
	長崎営業所
	枕崎営業所

### ● 広域販売グループ（消費地型）

海外ネットワークを活用し、食品メーカー、仲卸業者等へ加工食材や製品原料を供給  
 ex) 東南アジアのエビ  
 北欧のサーモントラウト、サバ、アジ  
 北南米のポーク、チキン 他

### ● 広域販売グループ（消費地型）

生産から販売まで一貫して関わる体制を確立  
 原料サプライヤーとして、水産・畜産・農産品を見極め、  
 環境変化に強い供給体制を構築



全国の主要漁港で「買参権」※2を保有



※1：2025年4月現在

※2：買参権・・・市場でセリに参加することができる権利

# サステナビリティビジョン 2030の進捗状況

## 定量目標



マテリアリティ		達成状況(2024年9月期)	2026年中期経営計画目標	2030年目標
①地球環境との共生	温室効果ガス排出量 (2015年比)	<b>30%削減</b> 収容能力あたり排出量 85kg → 60kg	37%削減	40%削減
	自然冷媒導入率	<b>72.4%</b>	80%以上	85%以上
	太陽光発電量 (2020年比)	5,028MWh → 11,635MWh (2020年) (2024年) <b>+131%</b>	発電能力 15メガワット	発電能力 20メガワット
	太陽光発電能力	5.1メガワット → 11メガワット (2020年) (2024年) <b>11メガワット</b>		
②働きがいのある 職場づくり	働きがいを実感している 従業員の割合(%)	<b>68.1%</b> 働きがいを感じていた20.7% やや感じていた47.4% (2024年9月 働きがいアンケート実施結果)	—	80%以上
	総合職女性比率	<b>8.3%</b> 総合職923名中 男性846名 女性 77名 (2024年9月末現在)	—	女性管理職人数 2倍以上 (2020年度比)

証券コード	2874
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
発行済株式総数	59,266,684株
時価総額	56,244百万円
1単元の株式数	100株
株主数	15,633名
格付情報	日本格付研究所 長期 A -
事業年度	10月1日より9月30日まで
定時株主総会	12月
株主総会議決権基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
期末配当(優待品)基準日	9月30日

大株主名	持株数 (千株)	持株 比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,723	9.68
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,750	4.65
株式会社松岡	2,569	4.34
第一生命保険株式会社	2,205	3.73
株式会社横浜銀行	2,176	3.68
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,737	2.94
農林中央金庫	1,473	2.49
株式会社八丁幸	1,411	2.38

※持株比率は自己株式 (171,535株) を控除して計算しております  
 ※2024年9月30日現在



— 「人」「もの」「地球」に優しい食品流通のエキスパート —

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解ください。

当社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転載等を行うことを禁止します。



◀ 横浜冷凍(株)ホームページは  
こちらをスキャン

**お問い合わせ先**

横浜冷凍株式会社 広報 I R 部

E-mail: [info@yokorei.co.jp](mailto:info@yokorei.co.jp)

URL : <https://www.yokorei.co.jp/>